

令和3年度

入学試験問題

学校法人 明星学園

浦和学院専門学校

看護学科

国語

(一般入試 II期)

[注意事項] (試験が始まる前に読んでおくこと。)

- 1 受験票は机の上に表示された受験番号の横におくこと。
- 2 問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないこと。
- 3 解答用紙に受験番号、氏名を正確に記入すること。
- 4 下敷の使用は禁止する。
- 5 試験終了時に解答用紙と問題用紙は別々に回収する。
- 6 試験終了後は試験監督の指示に従って行動すること。

※ なお、試験中に気分が悪くなった場合は試験監督に申し出ること。

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

a 東西のロボット観はなぜこれほど違うのだろうか。日本人のロボット好きは国際的にも知られているので、これを文化と結びつける議論もある。一九九〇年代にパリのソニー研究所でロボット犬AIBOの開発に携わっていたフレデリック・カプランは、「和魂」に注目する。カプランは和魂を、万物が自生するというアニミズム的な心情をベースとし、美意識にもとづいて靈性を探求するものととらえた。そしてユダヤ・キリスト教にもとづく西洋の思考と対比させるのである。

カプランの分析はなかなか興味深いのだが、はたして娯楽ロボットを愛玩する日本人の心情はそれほど特殊なものだろうか。周囲のさまざまな対象に靈性をみとめるアニミズムは、太古から地球上のたぐさんの文化にみられる、ありふれたものだ。人なつこい顔で話しかけてくるヒト型ロボットは、それなりに可愛らしい存在である。この気持ちは、万国の小さな女の子が人形を抱きしめる気持ちと大して変わらないだろう。

問題はむしろ、欧米人が人工知能を搭載したロボットに感じる強烈な違和感のほうなのだ。ここには明らかに、宗教的な背景がもたらした b 特殊な宇宙観がある。

分かりやすい例をあげよう。あの人造人間の怪物をつくったヴィクター・フランケンシュタイン博士の悲劇的な物語について、カプランは、次のようにのべる。

ヴィクター・フランケンシュタインは、被造物を生み出すにあたって魔術に訴えることはない。しかし、悲劇的な結末は、博士が人工的に生物を再創造しようとし、やりすぎたことを①シ唆している。みずからの創造行為に対する彼の反応は、人間のものではない科学、神の技術に触れてしまったという思いを隠らずも露わにしているのだ。(中略)怪物は、打ち棄てられたがために、墮天使、つまりサタンとなったのだ。博士の過ちは、当時の社会には受け入れられない存在を作り出したことにある。科学的な探求に目がくらみ、その仕事の持つ社会的・心理的問題を見て取れなかったのだ。(※1)

ユダヤ・キリスト教の考え方からすれば、宇宙の万物は、造物主である唯一神が創りたもうたものである。この神を模倣するというのは、ゆるされぬ冒瀆であり、宇宙秩序への挑戦に他ならない。大罪をおかした者は、やがて必ずひどい罰を受けることになる。それが怪物の憤怒と復讐、被造物の反逆なのだ。

こういった物語は、メアリー・シェリー作のフランケンシュタイン博士のエピソードに限らず、西洋に昔から無数にある。そのなかの近代版の典型が、「ロボット」という名を生みだしたカレル・チャペックの戯曲「R・U・R」に他ならない。ロボットは人間のために労働する機械として創られたが、やがて自らの知性を用いて反乱をおこし、人間を滅亡の淵まで追いつめるのである。

二〇世紀に、飛躍する機械文明にたいする西洋の大衆の恐怖は、どんどん膨れあがっていった。チャペックの戯曲はその象徴として人々の心を強くひきつけた。アシモフのロボット三原則は、いかに不完全ではあっても、そういう恐怖をやわらげる一時的な鎮静効果を果たしたのである。

ここにあるのは、欧米の近代人の潜在意識に巣くっている典型的な心性だ。 A 「絶対神の死」がもたらした巨大な喪失感に耐えられず、それを埋めあわせる代替物として「人造の靈的存在」を創造しよう

とする。と同時に、その傲慢さにたいする畏怖や懐疑を和らげてほしいと念願するのである。(a)

B、「ここに、ユダヤ＝キリスト教における伝統的な宇宙秩序というものについて、どうしても最小限ふれておかなくてはならない。それは、神を頂点とし、次に天使、それから順に人間、動物、植物、鉱物、人工物とランクが下がっていく、永遠にして厳格なる位階秩序である。この上下関係は、星がかがやく崇高な天、われわれが住むこの地上、そして地獄の②ゴウ火が燃えさかる地下という位階秩序にも対応している。上位が下位を支配する秩序といってもいい。(b)

神のあたえた秩序体系と、それを統べるルールは、言葉(ロゴス)にもとづく理性的活動によって認識できるものだ。「はじめに言葉(ロゴス)ありき」と③聖字に記されている通りである。混沌力オオのなかに神は言葉(ロゴス)、つまり論理的な言語によって秩序をもたらし、聖なる意思のもとに宇宙を設計し創造されたのである。したがって、真理とは正確な論理をふまえて開示されるものだ。人間は**1**があるので、真理に近づける地位をしめる、ということになる。(c)

こういう特殊な宇宙観・世界観は、中世の神学(スコラ哲学)体系で完成の域に達したが、やがてルネッサンスをへて、近代科学という世俗的な体系を生んでいった。つまり、神という超自然的な存在は背後に退いたが、近代科学の思考のベースには、こういう秩序観が厳然として存在するのである。そしてまた、現代の欧米人の心のなから、伝統的な位階秩序観や価値観がすっかり消え去ったわけでもない。(d)

とすれば、被造物である人工知能ロボットが、傲慢な人間に反逆をおこしてわれわれを殺傷する、という暗いストーリーは、c 欧米人にとつてまことに説得力をもつものではないか。被造物は最低の位階に属する存在だが、人間がそれに理性・知性をあたえたとき、彼らが刃向かってくるのはむしろ当然なのである。(e)

シンギュラリティ(※)仮説にたいする欧米人の悲観論や警告は、そういう根深い宗教的畏れとむすびついている。それらをまとめたバラットの著書『人工知能——人類最悪にして最後の発明』に登場する悲観論者たちは、中世の宗教観にとらわれるほど信心深くはないし、時代遅れでもないだろう。だが、しみついた文化が、無意識のうちに警戒心をうながすのだ。

C、近代科学のもたらした宇宙観の世俗化は、「人間が神になる」という下克上を正当化したともいえる。人間は理性をもつ存在であり、動植物のなかでもっとも進化した上位の存在である。**D** 人間は、理性と科学技術の力で宇宙・世界を進歩させていく使命をもっている、というわけだ。d 何ともおめでたい、能天気な考え方ではないか……。

そこには、偶然がかさなる生物進化の過程でたまたま出現した生物種である人間が、限定された認識能力で主観的・相対的に周囲環境を観察している、という思想はない。神は天上から客観的・絶対的に地上を見下ろしていたのだが、今や人間が神の視座に座っているのである。人間が絶対的な観察者なのだ。シンギュラリティ仮説を奉じる人々は、だから、次のように無邪気に考えているにちがいない。——神はいなくなつたし、すべてが物質的存在であつて、何らかの物理的ルールにしたがつて作動している。とすれば、人間の体のメカニズムを理性的に探究し、人間に近い存在を創り出すこともできるはずだ。具体的には当面、脳を探求し、脳のメカニズムを再現するコンピュータを創り出すのではないか。コンピュータ技術の進歩速度からすれば、もうその日は遠くない、と。

カーツワイルのような楽観論者は、シンギュラリティが到来しても、人間にロボットが逆らつたこととはな

い、と確信している。まるで、大昔の貴族が下僕の④チユウ誠を信じているようなものである。いくら人工知能の能力が向上しても、ロボットは永遠におとなしく人間に奉仕する有用な下僕だと思いきんでいるのだ。被造物は人間より下位の存在であり、人間は今や神だから、だろうか……。

〔※1〕カプラン(西兼志訳)『ロボットは友だちになれるか』邦訳書 170～171頁

〔※2〕シンギュラリティ…技術的特異点

西垣通『ビッグデータと人工知能 可能性と畏を見極める』

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

問一 点線部①～④のカタカナを漢字に直したときと同じ漢字を用いるものをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

① シ峻〔解答番号は1〕

- a 黙シ録には終末思想が強くあらわれていると言われる。
- b 彼は長年シ範代を務めてきた。
- c この惨状は黙シするに忍びない。
- d 彼女はシ跡めぐりが趣味だ。
- e 私のシ草を真似てやってみて下さい。

② ゴウ火〔解答番号は2〕

- a ゴウに入ればゴウに従えという言葉もある。
- b 彼は激しいゴウ問を受けた。
- c あんなやつに負けるとはゴウ腹だ。
- d 彼女はなんとゴウ情な性格なのだろう。
- e ゴウ華絢爛な部屋に招待された。

③ 聖アン〔解答番号は3〕

- a 事のテン末を説明した。
- b 赤字を補テンした。
- c テン乗員の指示に従うべきだ。
- d 面白いテン開になってきた。
- e とてもテン雅な舞である。

④ チュウ誠「解答番号は4」

- a 折チュウ案を出してほしい。
- b 他人のチュウ告には耳を傾けるべきだ。
- c 彼女は海外にチュウ在している。
- d チュウ吊りの状態になった。
- e 花から精油をチュウ出した。

問一 空欄A～Dを埋めるのに最も適当な語を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。同じ記号

は一度しか使えません。「Aは解答番号は5、Bは解答番号は6、Cは解答番号は7、Dは解答番号は8」

- a つまり
- b だからこそ
- c 一方
- d ところが
- e さて

問二 本文のある箇所からは次の一文が抜けています。元に戻す場合に最も適当な箇所を(a)～(e)の番号で答えなさい。「解答番号は9」

〈そこには神のさだめた厳然たる撰理、ルールがあり、そのルールにもとづいて万物が運行しているのだ。〉

問四 本文中の事例の中で、傍線部 a 「東西のロボット観」にあてはまらないものはどれか。「解答番号は10」

- a 日本はアニメズム、西洋はユダヤ＝キリスト教の思想にもとづいていることを双方のロボット観に関連付けて考えることができる。
- b 日本人が娯楽ロボットを愛玩する心情を持つ一方、西洋人は強烈な違和感をもってロボットをとらえている。
- c 日本人が娯楽ロボットを愛玩する心情を持つ一方、西洋人はロボットを恐怖心の対象とすらとらえてきた。
- d 日本人がロボットをそれなりに可愛らしい存在だと見るのとは異なり、西洋では創作作品の中で畏敬の念を持って描かれている。
- e 日本人がロボットをそれなりに可愛らしい存在だと見るのとは異なり、西洋では傲慢な人間に反逆をおこし殺傷する存在としてとらえられることがある。

問五 傍線部 b 「特殊な宇宙観」とはどのような意味か。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は 11】

- a フランケンシュタイン博士のエピソードや戯曲「R・U・R」などの戯曲といった創作物によって機械文明にたいする大衆の恐怖を表現することであらわす宇宙観。
- b フランケンシュタイン博士のエピソードや戯曲「R・U・R」などの戯曲といった創作物の中で被造物に人間が理性・知性をあたえることで絶対神を創り出すとする宇宙観。
- c 神による位階秩序は人々に恐怖をもたらしたが、人間は被造物を創り出すことで恐怖を和らげ、秩序をもたらすに至った宇宙観。
- d かつて神によってもたらされた秩序はもはや崩壊し、真理に近づける存在となった人間こそが宇宙を規定すべきだという宇宙観。
- e 神の与えた位階秩序は理性的活動によって認識することができ、論理的な言語による秩序なくして宇宙は成り立たないという宇宙観。

問六 傍線部 c 「欧米人にとつてまことに説得力をもつものではないか」とはどのような意味か。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は 12】

- a 論理的な言語をもつ人間が真理に近づける地位をしめるのと同様に、すべてにおいて人間よりも優れた能力を持つ被造物が神以上の存在になることは当然のことだから。
- b 論理的な言語をもつ人間が真理に近づける地位をしめるのと同様に、同じような能力を与えられた被造物が人間と同等のふるまいをするのことは当然のことだから。
- c 被造物をモデルにした数々の優れた創作作品は、今後必ずくるであろう現実がリアリティをもって描いているから。
- d 被造物をモデルにした数々の優れた創作作品は、根底で欧米人の悲観論や警告とむすびつき、宇宙観を世俗化させるのことに繋がっているから。
- e 被造物をモデルにした数々の優れた創作作品は、被造物の傲慢さをたいする畏怖や懐疑を和らげる効果があり、人々に安心をもたらすから。

問七 傍線部 a 「何ともおめでたい、能天気な考え方ではないか……」と考えられるのはなぜか。あてはまるものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は13】

- a 人間は限定された認識能力すら持ち合わせていないにも関わらず、神の視座に座る資格があると思いついてい
- b 人間は限定された認識能力すら持ち合わせていないにも関わらず、神を支配する力をも手に入れたと思いついてい
- c 人間は限定された認識能力すら持ち合わせていないにも関わらず、被造物を人間より上位の存在であると決めつけ、神を殺してしまつたか。
- d 人間は限定された認識能力によって周囲を観察する立場に過ぎないのに、理性と科学技術をもっているだけで宇宙や世界を凌いでいく資格を得たと思いついているか。
- e 人間は限定された認識能力によって周囲を観察する立場に過ぎないのに、理性と科学技術を使いこなし、神を殺すつもりで考えているか。

問八 空欄 1 にあてはまる語として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は14】

- a 知性
- b 品性
- c 個性
- d 理性
- e 感性

問九 本文の内容と合致するものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。【解答番号は15】

- a 近代科学は宇宙観の世俗化をもたらし、神が位階秩序の頂点に立つことを可能な世の中にした。
- b 人間が神の視座に座ることは生物進化の過程同様必然的だったのであり、ロボットをも奉仕する有用な下僕として利用できる。
- c 西洋ではロボットに対する恐怖心を抱きながらも、創作物の中にその恐怖を緩和する要素を取り入れていった。
- d ユダヤ・キリスト教には伝統的な宇宙秩序があり、それが潜在意識となって西洋人の恐怖心をあおっているため、取り除くべきである。
- e 科学技術の発展とともに、現代の欧米人の中に位階秩序の考え方を抱いているものはいなくなった。

二 次の①～⑩の熟語の構成をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 磁力【解答番号は16】 ② 合併【解答番号は17】
③ 素朴【解答番号は18】 ④ 龍頭【解答番号は19】
⑤ 応募【解答番号は20】 ⑥ 納棺【解答番号は21】
⑦ 騒音【解答番号は22】 ⑧ 汎論【解答番号は23】
⑨ 方円【解答番号は24】 ⑩ 未了【解答番号は25】

- a 同じような意味の漢字を重ねたもの。
b 反対または対応の意味の漢字を重ねたもの。
c 上の字が下の字を修飾しているもの。
d 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの。
e 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの。

三 次の熟語の対義語をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 禁欲【解答番号は26】 ② 追加【解答番号は27】
③ 粗雑【解答番号は28】 ④ 愚鈍【解答番号は29】
⑤ 短気【解答番号は30】

- a 細密 b 享楽 c 削減 d 利発 e 悠長

四 次の熟語の類義語をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 念願【解答番号は31】 ② 恐喝【解答番号は32】

③ 購求【解答番号は33】 ④ 翼下【解答番号は34】

⑤ 足場【解答番号は35】

a 脅迫 b 購買 c 本懐 d 傘下 e 拠点

五 空欄に入る適語を次の語群から選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 薄利多【解答番号は36】 ② 付【雷同】【解答番号は37】

③ 舌先三【解答番号は38】 ④ 言【一致】【解答番号は39】

⑤ 換骨奪【解答番号40】

⑤	④	③	②	①
a	a	a	a	a
胎	行	尺	異	購
b	b	b	b	b
体	動	寸	知	買
c	c	c	c	c
態	働	哩	和	売
d	d	d	d	d
肉	論	方	加	得
e	e	e	e	e
身	様	間	我	獲

六 空欄に入る適語を次の語群から選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 歳□人を待たず【解答番号は41】

② 紺屋の□袴【解答番号は42】

③ 門前□を成す【解答番号は43】

④ 青□の志【解答番号は44】

⑤ □階から目薬【解答番号は45】

①	a	時	b	日	c	月	d	年	e	末
②	a	白	b	黒	c	藍	d	染	e	紅
③	a	財	b	列	c	市	d	志	e	行
④	a	山	b	雲	c	河	d	森	e	滝
⑤	a	一	b	二	c	上	d	下	e	越

七 次の①～⑤の傍線部の活用の種類として最も適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。ただし、同じ記号を何度用いても構いません。

① 今日は走らないのですか。【解答番号は46】

② きちんと教えないわけにはいかない。【解答番号は47】

③ 日程を調整したが、当日キャンセルとなった。【解答番号は48】

④ 読みながら歩くのは危ない。【解答番号は49】

⑤ 彼はいつも楽しそうに話す。【解答番号は50】

- a 未然形
- b 連用形
- c 終止形
- d 連体形
- e 仮定形